



うさぎとかめの通信 上越市立高田幼稚園

(園長室だより) 107周年
令和5年11月1日 第187号

HPのQRコード



「思い→体験→表現」は、幼児、児童、生徒に一貫する遊び学びの基本!

☆小学校1年生から招待されました(架け橋交流その1)☆

高田幼稚園の近くの大手町小学校の1年生から、年長のまつ組の子供たちは紙芝居の読み聞かせの招待を受けました。

10月17日(木)に、大手町小学校の玄関まで歩いていくと、1年生がみんなで玄関まで来てくれ、まつ組の子供たちは熱烈な歓迎を受けました。そこで、ちょっと心配で緊張気味だったまつ組の子供たちの不安が一気にとれたようでした。

交流会の最初は、1組の1年生が6グループに分かれ、それぞれの読み聞かせの紙芝居を紹介してくれました。まつ組の子供たちと2組の1年生は、その中から聞きたい紙芝居のブースに行き読み聞かせを聞きました。次に2組の1年生が紙芝居の読み聞かせをしてくれました。

1年生は、それぞれのグループで相談して紙芝居を選び、練習してきたのでしょう。登場人物で声の担当を決め、声色や読む速さを変え、工夫して読み聞かせをしてくれました。最後に、まつ組の子供たちは、1年生の前で「面白かった」「楽しかった」などと感想を発表できました。



紙芝居の後は、1年生が生活科で活動してきた「たいようむら」で、一緒に遊びました。1年生が羊の世話をしている様子を見て、大きな羊に恐る恐るリンゴの皮をあげようとする子、羊の背中を優しくポンポン触る子、紐を引いて散歩をする子など、園では体験できない羊との触れ合いを経験できました。また、1年生が作った車に乗せてもらって「たいようむら」をめぐるたり、ジャングルジムの中で遊んだりしました。

【交流会で見られた子供たちの姿】

- ・ 小学校は安心…熱烈な歓迎を受け、1年生から優しく手をつないでもらったり教えてもらったりして、小学校がとても身近な存在になりました。
- ・ 1年生への憧れ…1年生の姿は、まつ組さんにとっては憧れの存在になりました。自信をもって楽しそうに紙芝居を読んでいる姿、羊を大事にしている姿、自分たちの活動の場所「たいようむら」を作ってしまう力など、すごいなという気持ちをもったように思います。
- ・ 小学校は楽しそう…「この車、1年生が作ったの!」「すごいね。人を乗せて動くよ!」「楽しいい!」小学生になったら、自分たちも楽しいものを作りたいなと思ったようです。

幼稚園の職員も子供たちと一緒に小学校に出かけ参加することで、小学校の国語の学習や生活科の活動の様子を知ることができました。幼稚園の学びが小学校につながっていくよう、これからも小学校と連携を深めていきたいと思います。

【担任の感想】

2つくらい紙芝居を読んでもくれるのかな?と思っていたのですが、各クラス6つも用意してくれていました。読む順番を考えたり声色を変えて読む工夫をしていたりする姿に、幼稚園の子供たちが遊び来てくれるのを楽しみにしていたのだなと思うと嬉しくなりました。入学6ヶ月にして、これだけのことができるのかと思うと、幼稚園生活の経験や体験が大事になるのだと改めて感じました。



☆今度は1年生を招待するぞ!

(架け橋交流 その2)☆

今回の招待を受け、まつ組の子供たちは、自分たちが作り上げてきた巨大迷路に1年生を招待したいと考え、交流会の終わりの会に「巨大迷路を作ったので、高田幼稚園に来てください」とみんなで声をそろえて招待しました。

「架け橋交流 その2」は、11月8日の予定です。

